

H26. 9. 18ベランダ de キエー口勉強会内容 (新規購入者)

【キエー口考案者 松本さんの講話(抜粋)】



キエー口は昔、土の中に、生ごみを埋めて処理していたことと一緒に。

違いとしては、

- ① 太陽の光を当てやすくし、温度を上げる ⇒ バクテリアを働きやすくする。
- ② 雨を当たらないようにする ⇒ においを出にくくする。
- ③ 横から風が入るようにする ⇒ 土の表面を乾燥させてにおいと虫の発生を防ぐ。

良いところとしては、土が増えない、投入する物にほとんど制限がないということ。

注意してほしいのは『魔法の箱ではない』ということ。

バクテリアを飼っていると思って、バクテリアの生活環境を良くしたり、エサをやる感覚でやると良い。

エサ(生ごみ)が少なくなればバクテリアは減る。コンスタントに食べきれぬ量をあげることが大切。

困ったところとしては大きさと場所。

キエー口は温度に処理能力を依存しているが、南向きの良い場所は花を植えたりしていることが多い。3時間ほど陽が当たれば分解はするが、陽が当たれば当たるほど分解する。

分解に大事な事は水分。微生物は乾燥を嫌う。しかし多すぎると窒息してしまう。

土がサラサラなら、水分は必要だし。土の中がウェットであれば入れなくても良い。